

賛否の分かれた議案等の表決結果

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	討 論
件 名	議 員 名	今村弘志	阿部竜一	小池真由美	古谷孝	上野琢磨	高山優太	岡島貴弘	天田いづみ	中村智紀	吉澤富美夫	田畑寛治	安藤圭介	河野芳徳	鈴木 潔	
第 52 号 議案	工事請負契約の締結について	賛成	賛成	賛成	反対	反対	賛成	賛成	賛成	反対	※	賛成	賛成	賛成	賛成	反対 (上野) 賛成 (今村)
意見書 第 1 号	非核三原則の堅持を求める意見書 (案)	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	※	反対	反対	反対	反対	反対 (鈴木) 賛成 (今村) 反対 (田畑) 反対 (岡島)

※ 10 番吉澤富美夫議員は、議長のため表決に加わらず。

意見書を可決しました

非核三原則の堅持を求める意見書

非核三原則は、1967年に当時の佐藤栄作首相が国会で表明し、1971年に衆議院においてこの原則の遵守に言及した決議が可決されて以来、国是として位置付けられてきた。歴代内閣もこれを堅持している。

しかしながら、今日、核兵器を取り巻く国際情勢は厳しさを増しているが、こうした時代であるからこそ、非核三原則は今後も守られることが強く求められる。

81年前、広島と長崎にもたらされた惨禍は決して繰り返してはならない。被爆の実相を後代に伝えつつ、非核三原則を堅持し、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命である。

よって、志木市議会は、国会及び政府に対し、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いを真摯に受け止め非核三原則を堅持されるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月23日

埼玉県志木市議会

全国市議会議長会
埼玉縣市議会議長会

議員在職10年表彰



安藤 圭介議員



岡島 貴弘議員

表彰されました
おめでとうございます